

Life・Culture & Welfare 地域から発信 福祉を文化へ

焼津福祉文化共創研究会通信 第79号

結成して7年、2025年度活動テーマ『地域活動実践事例から、これからのご近所のあり方を探る』を基に、身近な地域の現状とこれからの地域づくりを語り合う

港公民館(現港地域交流センター)で、住民主体に平成28年度から3年間取り組んだ「港地域ささえあい講座」から誕生して7年の歩みとなった本会は、ここに、2025年度を振り返る時期を迎えた。

これまで、浮き彫りにしてきた地域課題を基に話し合い、実践することを活動目的に掲げ、協働団体・静岡福祉文化を考える会活動への支援とともに、下記の活動に取り組むことができた。

1. 定例研究会・部会・研修会等

- (1) 定例研究会…12回開催(原則毎月第2土曜日 18:30~21:00)
- (2) 協働団体: 静岡福祉文化を考える会「30年検証誌」企画・編集作業参画…全10回開催
- (3) 焼津市V連絡協議会に結成当初から加盟し7年を経過した。市内の活動団体と親睦を図った。
①代表者会4回出席 ②V連主催 研修旅行(2名)参加 ③V連主催 研修会(2名)参加

2. 活動内容

- (1) これまで6年間取り組んできた「調査研究事業」(「地域ぐるみの居場所」「ご近所福祉」「児童の福祉観」「高齢者の地域参加」「中学生のご近所福祉観」「調査の持つ意義」)を検証
- (2) 会員の気になる「ご近所福祉」の現状分析
- (3) 協働団体: 静岡福祉文化を考える会 「若者発 ご近所福祉かるた活用状況」把握
- (4) 協働団体: 静岡福祉文化を考える会 「30年検証誌」の編集及び配布提供検討協議
- (5) 掛川市初馬[一膳会]見学研修会開催(4名参加)
男性7名主中心に、地域の女性高齢者(87歳から97歳)15名程を月2回、9時~15時頃まで、介護予防体操や会食、講話等の居場所活動を学び、関係者との意見交換をした。
- (6) 広報啓発活動
①「日本福祉文化学会」HPを主体に、「静岡福祉文化を考える会」ブログとのリンクによる本会ブログにより、広く活動を通じた問題提起を発信。
②焼津福祉文化共創研究会通信の発行(原則、毎月1回発行、A4版、両面印刷100部)
*紙媒体: 配布先90部 *メール送信: 関係機関・団体・個人等50か所 *ブログ立ち上げ
③マスコミへの積極的な情報提供
- (7) 関係機関・団体との連携・情報提供



シリーズ⑳ 若者発 ご近所福祉かるたで学ぶ

このコーナーでは、平成27年度・令和3年度・令和6年度に、協働団体: 静岡福祉文化を考える会が、赤い羽根共同募金地域福祉広域助成事業により、世代を超えて身近な地域社会を学ぶ、地域福祉教育教材として作成した「若者発ご近所福祉かるた」(本会活動参画)を本誌第57号から「シリーズ」で紹介。



今回は「わ」「を」「絵札」は、漫画家 法月理栄様が作画。*かるた等の問い合わせは、054-624-1924 平田まで



今こそ、大人社会が若者の地域デビューの機会をつくり提供していこう。「若者の居場所」は、身近な地域にあります。地域参加を積極的に呼びかけよう。



「若者発ご近所福祉かるた」の読札や絵札を使い、大いにご近所を語り合いコミュニケーションを深め、身近な地域のこれまでとこれからを学ぼう。

焼津福祉文化共創研究会事務局日誌拝見(1/17~3/14 予定含)

- 1/17 焼津市V連絡協議会 第3回代表者会出席
1月(第82回)定例研究会開催
「協働団体:静岡福祉文化を考える会 30年検証誌」
順次発送作業開始
- 1/24 静岡福祉文化を考える会事務局協議
- 1/27 「静岡福祉文化を考える会30年検証誌」取材対応
- 1/28 「焼津福祉文化共創研究会通信第78号」編集作業
静岡県コミュニティづくり推進協議会会議において、
本会及び静岡福祉文化を考える会活動内容報告
- 1/29 沼津市障害者自立支援協議会において本会の活動紹介
- 2/ 2 沼津市人材育成講座において、本会活動紹介(研究会通信配布)
- 2/ 4 「静岡福祉文化を考える会30年検証誌」発送作業継続実施(残 約61部)
配布提供先(個人・団体等)から、意見が届く(現在35件)
- 2/ 7 静岡県コミュニティづくり推進協議会主催「コミュニティフォーラム2026」開催
- 2/ 9 会員宛て、2月(第83回)定例研究会関連資料配布作業
- 2/10 「焼津福祉文化共創研究会通信第78号」配布及びメール送信作業
- 2/14 2月(第83回)定例研究会開催
- 3/07 焼津市V連絡協議会 第4回代表者会出席
協働団体:静岡福祉文化を考える会主催「第2回公開型研修会」にて本会研究会通信配布
- 3/14 3月(第84回)定例研究会開催(2025年度活動総括、2026年度活動確認)



春を彩るツルコザクラ



シリーズ⑥「若者発 ご近所福祉かるた活用事例集」を紹介します

「協働団体:静岡福祉文化を考える会」とともに、令和6年度の赤い羽根共同募金助成事業により、この10年間にかるたを配布提供した皆さんに、「かるた活用状況調査」を実施した。

その結果を基に、漫画家 法月理栄様の多大なご支援(イラスト作画)をいただき、「若者発 ご近所福祉かるた活用事例集」を作成した。本誌第74号から「シリーズ」で紹介している。

第6回は「コミュニティその1 ご近所のお友だちとおしゃべり会」

■進め方

* 気軽に声を掛けられるご近所さん同士が、気兼ねなく活用できる自治会や町内会が維持管理をしている「自治会館」「地区センター」「地区老人憩いの家」「町内会集会所」「町内会公会堂」において、使用時間内で、気の合うご近所さんが主体的に、本音で語り合い、ひと時を過ごす居場所で、ご近所を語り合う時に、「かるた」を有効に活用する。自然に集まった仲間と、ある時には、お弁当持参でゆったりとしたご近所を語れる環境に努める。

■楽しさの工夫

* ご近所との関係を維持し、積極的に地域行事などに参加し、世代を超えた関係づくりに努め、居場所で自由に交流することを働きかける。

■留意点

- * 建物の管理責任者には、使用日時、時間帯等を予め届けをだして、安全を確認する。
- * 予め「かるた」の借用について、問い合わせをする。



本会は、平成28年度から3年間、中学校区を中心に、地域の課題を学び合おうと、住民主体に「地域ささえあい講座」を開講し、延べ614名の地域住民が参加した。この学び合いの成果を、今後、継続的に話し合っていこうと、令和元年度に結成して、7年間活動に取り組んでいる。身近な地域のことを一緒に語りませんか。

本会(焼津福祉文化共創研究会)への問い合わせは下記にお願いします。
〒425-0041 焼津市石津3丁目10-8 焼津福祉文化共創研究会 平田 厚
Tel&fax054-624-1924 090-4861-4547 E-MAIL: monogusa-tomy@theia.ocn.ne.jp



焼津福祉文化共創研究会
QRコード



静岡福祉文化を考える会
QRコード

